



キッチン、奥さんが楽しく快適に家事が行えるよう、アイランド型のシステムキッチンを設置。リビング・ダイニング全体、窓の外を眺めながら、料理や後片付けができる

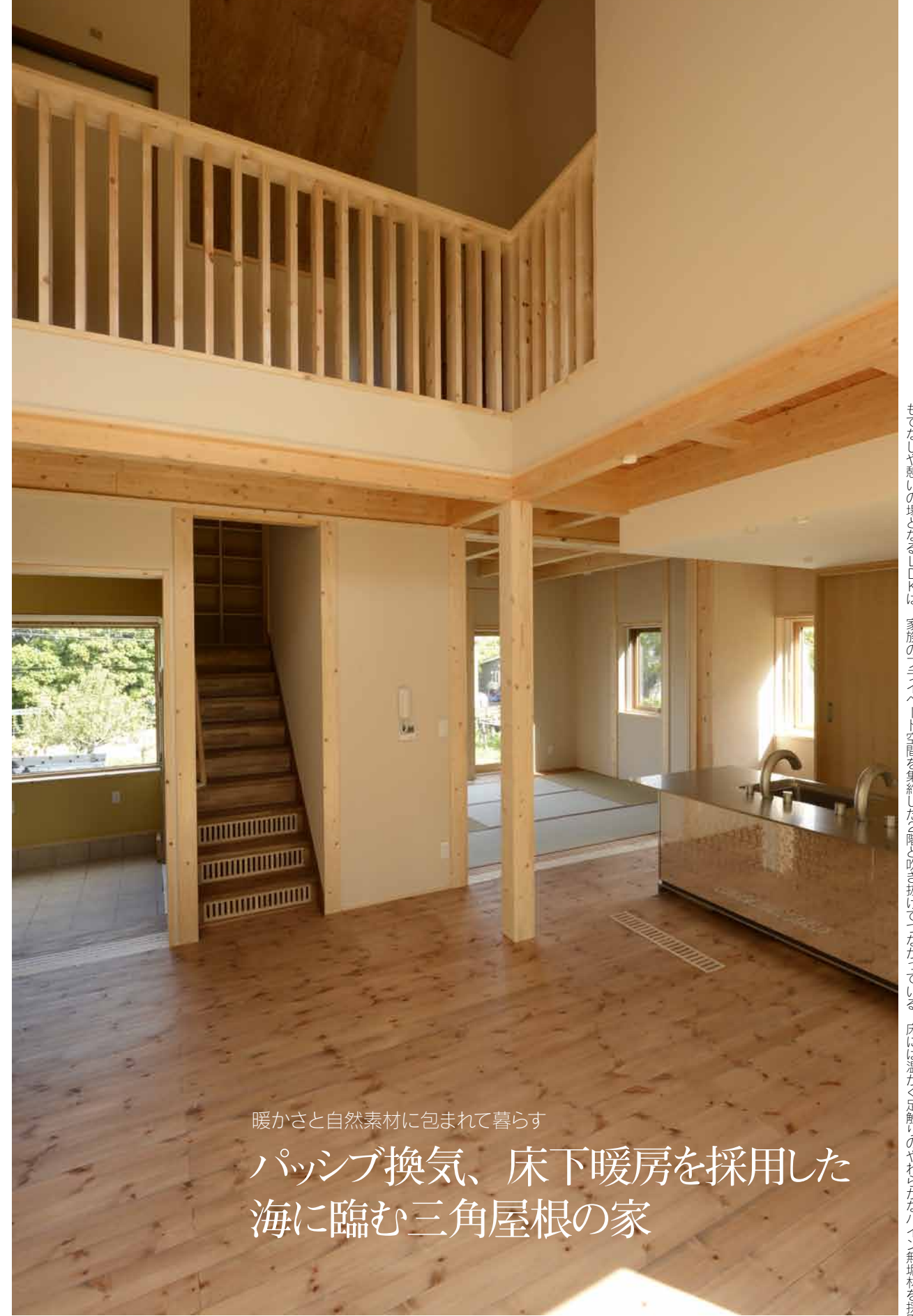
岐阜県で生まれ育ったTさんは、海を眺めながら暮らすのが長年の夢でした。しかし2～3年おきに転勤のある仕事に就いていたため、夢を実現するのは容易ではありませんでした。「7年前、長女の誕生を機に、妻の実家がある小樽市での新築を決断。子育て環境を整える意味でもマイホームが必要な時期だと思い、家づくりの準備を始めました」。

暖かさにこだわっていたTさんの目に留まったのが、健康的で暖かな室内環境をリーズナブルに実現するパッシブ換気床下暖房システム。「パッシブ換気は、新鮮な外気を床下に送り込み、暖房器で温め、室内に循環させ、汚れた空気を最上部から排気します。少ないエネルギーで家中をむらなく暖めるので、結果、省エネにもつながると思いました」。

Tさんは、小樽市の高台に300坪の敷地を購入。今年1月、勤務地である埼玉県から、パッシブ換気住宅の高い実績を持つ大平洋建業を訪れました。「説明が一つひとつ丁寧で、ここなら安心して任せられると思い、新築を依頼しました」。埼玉に住むTさんは、担当者とメールで打ち合わせを重ね、家づくりを進めました。

そして2012年10月、故郷の古民家のような木をふんだんに使った、三角屋根の家というTさんの希望どおりの新居が完成しました。長年の社宅住まいで不便を感じていた水まわりも、最新の設備を採用。懐かしい木の温もりと住み心地の良さを兼ね備えた夢の城を実現しました。「来春の勤務地は未定ですが、長女が2年生になるのを機に家族だけは引っ越しをする予定です。1日も早く、転勤願いがかない、新居の庭などを自分でつくりたいと思っています」。

玄関とつながる多目的室は、タイル仕上げで半屋外空間としても使える。正面の開口の奥は、組み込み車庫。室内から出入りもできる。



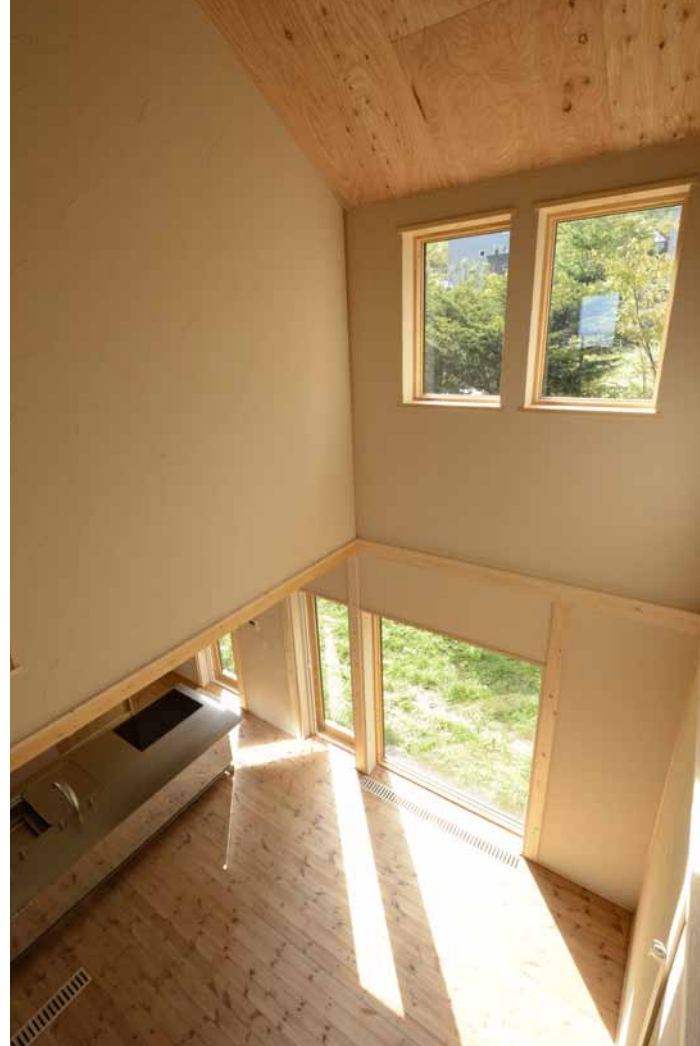
暖かさと自然素材に包まれて暮らす
パッシブ換気、床下暖房を採用した
海に臨む三角屋根の家

もてなしや憩いの場となるLDKは、家族のプライベート空間を集約した2階と吹き抜けでつながっている。床には温かく足触りのやわらかなパイン無垢材を採用

NEW BUILDING REPORT
07

小樽市・Tさん宅/夫婦30代、子ども3人

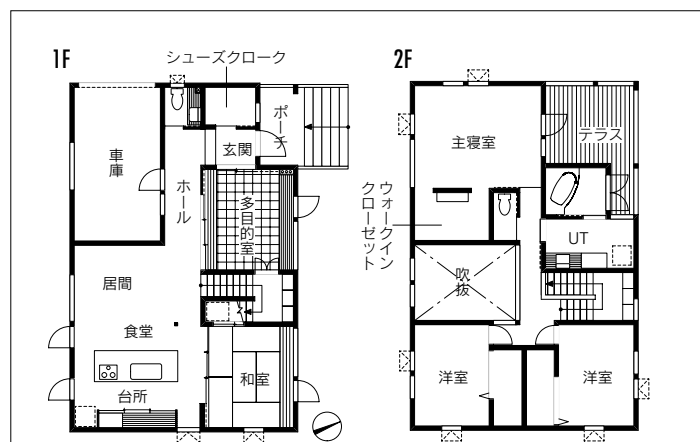
設計・施工/大平洋建業(株)
TEL 011-584-3071
札幌市豊平区西岡4条14丁目2-13
http://www.t-kengyo.com/ E-mail:taiken@poplar.ocn.ne.jp



吹き抜け上部には外光を取り込むハイスାଇドライトを設置。おらかな吹き抜けは開放感を演出するとともに床下や1階の温かな空気を2階に運び、1階に太陽の光を送る



1



■ 建築データ

構造規模/木造(在来工法)・2階建て
 延床面積/159.86㎡(約48坪)
 <主な外部仕上げ> 屋根/コ罗纳ーフ、外壁/木張、建具/玄関ドア:木製ドア、窓:木製サッシ
 <主な内部仕上げ> 床/無垢パイン材、壁/塗壁、天井/ベニヤ
 <断熱仕様 充填断熱+付加断熱> 基礎/FP板(B3)100mm、壁/HGW16kg 100mm+FP板(B3)105mm、天井/フローリング300mm
 <暖房方式> セントラルヒーティング

■ 工事期間

平成24年4月~10月(約6ヵ月)

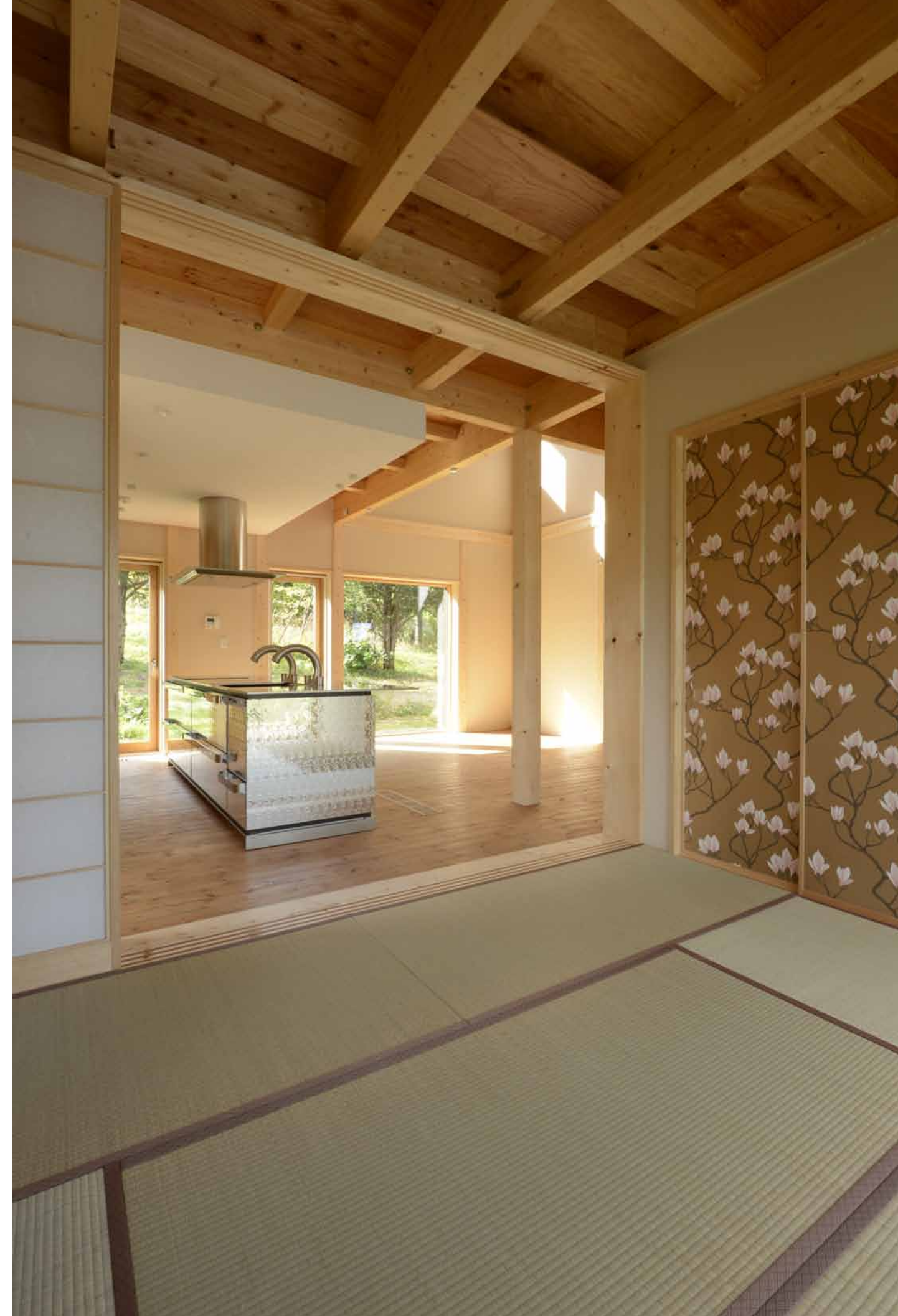
3 2

- 1.2階には小樽の海を一望するテラスも設けられている。Tさんの希望でゆったりとしつらえた浴室からも、テラス越しに海を眺めることができる
- 2.大容量のウォークインクローゼットを備えた主寝室。主寝室にはテラスへの出入り口も設けられている。さらに、季節用品などを収納できるロフトもある
- 3.2階階段ホール。右手に曲がれば、ユーティリティとバスルーム、突き当りは主寝室。吹き抜けを挟んで左手に子ども室が2室、レイアウトされている。廊下のガラリはパッシブ換気の空気の通り道



Tさんの故郷、岐阜の古民家をお手本に、三角屋根と木の外壁、玄関ドア、窓枠を採用した新居。歳月を経るほどに、外観もまた豊かな味わいを醸し出すだろう

● <家づくりWEBセンター> 登録企業 ● とじこみハガキ ⑫ をご利用ください。



1階LDKに隣接して、客間やまてなて空間として利用可能な和室を設けてしつらえた